



客足は途絶えているが、今も食堂は営業している

母が切り盛りして 3億3000万円の蓄財 7000万円脱税した

「長野の小さな食堂」の事情

村は噂でもちきりに

江戸と京都を結んだ中山道六十九宿。その真ん中に位置する「数原宿」は江戸時代、木曾路を行く旅人が疲れを癒やす宿場町として栄えた。

木曾川沿いにある小さな集落は、現在、長野県木曾郡木祖村数原と名前を変えた。江戸時代の活気を思い起こさせる風情は、ほとんど残っていない。旧中山道と並行するように走る国道19号線が整備されてからというもの、宿場町を通る人はめっきりと減り、村は廃れていく一方だ。

地方に行けばどこでも目にしそうな、寂れた宿場町。そんな村で起きた巨額脱税事件が、このところ村人たちの格好の話題となっている。

発端は11月16日付の朝刊だった。木祖村で食堂を経営する夫妻が母親から3億3000万円の遺産を相続し、そのうち2

億5000万円を隠していたと報じられたのだ。約7000万円を脱税したとして、関東信越国税局から長野地検に告発され、長野地検は翌17日に夫婦を在宅起訴した。

夫妻の名前は仮に、水原邦雄氏（68歳）、高子氏（68歳）とする。彼らは国道19号線沿いで「やぶはら食堂」を親の代から営んでいた。

近隣住民がこう話す。「静かで小さな宿場町ですけど、いまは水原さんの話題で持ちきりですよ。本当なら（同じ木曾郡出身の力士）御嶽海の新入幕初勝ち越しでもっと盛り上がっているはずなんですけど、やっぱり

木曾川の源流に位置する村で起きた「巨額脱税」事件。その舞台は寂れた食堂だった。真面目で実直だと評判の夫妻だったがだけに、地元住民は「まさか」と口を揃える。だが、国税当局は見逃さない。

住民が言うように、ここで3億円を超える巨額の蓄財が可能だったとは到底思えない。夫妻の弁は後で紹介する。

やぶはら食堂は'60年代後半、国道19号線が新しく整備された頃に高子さんの両親が開業した。

当時を知る同じ地区の飲食店経営者の話。

「目の前の国道を走る長距離トラックの運転手さんや工事の関係者の人が毎日ひっきりなしに『やぶ食さん』（現地の人はこう呼ぶ）を訪れていました。昭和50（'75）年頃から（新鳥居）トンネルの工事が始まって3年半後に完成したんだけど、その頃は常にお昼時は満員でした。店の前の大きな駐車場にも車が入りきらないほどでね。昭和の頃が一番儲かっていたはずですよ。儲けてもこんな田舎町じゃ使うところもないし、貯まる一方だったのかもしれない」

一人娘だった高子氏の

元へ邦雄氏が婿入りし、婿養子となる。食堂の跡取りに収まった邦雄氏の評判は、すこぶるいい。親族の一人は彼をこう評する。

「実直な働き者です。文句ひとつ言わずに、夏の暑いなか、寒さの厳しい冬も仕事を続けてきました。『やぶ食』は、地元では人情もあって、味もいいと評判ですよ。先代のおじいちゃんが91年に亡くなってからは彼が食堂の味を守り、おばあちゃんと妻と休みなく店を開けていました」

「頼れるものはおカネだけ」

時代とともに人の流れは変わっていく。工事が終わり、国道沿いにコンビニエンスストアができたことで、やぶはら食堂はかつての賑わいを失っていった。'10年にはすぐ近くに「道の駅」が新設され、それ以降、開店休業が長く続く。

おじいさんが亡くなってからは、おばあさんが店を切り盛りしていた。病気になるお店に出られないようになってからもずっと金庫は握っていて、「頼れるものはおカネだけ」とよく言っていましたね」

高度経済成長とともに成長し、その役割を終えた食堂の姿を見届けるように、'12年1月、高子さんの母親が亡くなる。86歳だった。

水原夫妻には子が一人いて、高子さんの母親は、娘夫婦や孫名義での預貯金を積み立てていたという。法定相続人は3名で、死亡時に夫妻が申告した遺産は約8000万円。当時なら相続税がかからない上限の金額だった（今年から相続税法が変わ

「名義預金を発見したとき、すでに贈与の発生から5年以上が経っていたとします。租税の時効は5年ですから（悪質な場合は7年）、通常調査では持ち主に対して何もできません。こういう場合は、親が死ぬのを待って、相続のときにガバツと課税するわけです」

税務署が怪しいと睨めば、管轄の国税局査察部に通報し、査察部が再度



中原広国税庁長官

「子や孫の名義で預金する、いわゆる『名義預金』は古典的な節税方法ですが、今は通用しません。たとえば、子供が生まれたときにその子の名義で銀行口座を作ります。贈与税のかからない範囲で毎年110万円ずつ貯金したとして、成人すると2200万円。このおカネは子供名義だから、親が死んでも遺産として申告する必要がないと考えがちですが、そうではあ

りません。通帳の管理を親がしていて、贈与の実態がなければ、親の財産です。それは相続税の申告対象になるといいます。が、当局の判断なんです」

水原家の場合、夫妻やその子供の名義で2億5000万円もの預貯金があり、それを申告しなかった容疑で、今回起訴されたわけだ。どうやってそこまでの金額を貯めることができたのか。水原家の知人はこう推測する。

「いくら稼いでも、稼いだおカネを使う暇がありません。飲食店は毎日のように店を開けなければならぬから、旅行にも

行けない。おばあさんが宝石好きだなんて、聞いたこともないし、株も土地も持っていない。だから、利率のいい時代に生命保険や定期預金をいくつも持っていたという話に地元ではなっています。おじいさんが亡くなって、しばらく経つ

「まず、税務署が遺産を調べます。税務署はある程度、土地に根付いて調査をしていますので、亡くなった人が商売をしていた場合、このくらいの資産があるだろうと目星

精査。彼らが悪質だと判断した場合は検察に告発する。調査を終えるまでに3年程度かかることはザラだ。今回のケースでは妻の母親が健在なうちから、税務署が子や孫の銀行口座をリストアップしていた可能性が高い。「個人商店や自営業者の

国税は突然、やって来る

では、水原夫妻には脱税をする意図はあったのだろうか。両人は本誌の取材にこう話した。

「悪意があつてしたことではありませんでした。（国税局に）指摘されるまで、自分たち名義の通帳があることも知りませんでした。税金の知識がなかったために世間の皆様をお騒がせして、ご迷惑をおかけしたことを反省しています。いまは税理士さんや弁護士さんから何も語るなど言われていますので、これで失礼いたします」

前出とは別の親族は、水原夫妻を擁護する。

「新聞に出てから、邦雄さんから身内に対して『新聞に出ていたことは事実ですので、悪いことを言う人や店に来てくれなくなつた人もいます。が、僕は頑張つて仕事をするだけです。お得意様がいる限り、店は開け続けていきます』と説明がありました。本当に悪知恵なんて働く人間ではないですよ。だつたら、専門家に頼んでいますよ。夫婦はとにかく大変なことをしてしまつたと落

緊張やストレスなどで、どうきや息切れがするのですが…?

「救心」は自律神経のバランスを整えて、体をリラックスさせ、どうき息切れを改善します。



「血流いきき読本・気血読本」進呈
救心製薬株式会社
〒166-8533 東京都杉並区和田1-21-7

なぜバレたのか
税務署は資産家たちの資金の流れを絶えず洗っている。今回のケースでは母親が亡くなってから8ヵ月後に夫妻が相続税を申告し、その時から調査が始まった。

「まず、税務署が遺産を調べます。税務署はある程度、土地に根付いて調査をしていますので、亡くなった人が商売をして

た。たとえば、こんな具合だ。税務署が別の「水原」姓の人物が関係する会社の税務調査を行っていたとする。税務署は金融機関にその人物の口座照会をかけるが、金融機関や

カラーで探究

「昼ドラの女神」奇跡のヌード大集結

田中美佐子 高岡早紀 白石美帆 雛形あきこほか

日本企業も大打撃！NYテロで世界経済が凍りつく

ニューヨーク

モノクロインタビュー

堤真一

「いつでも産つぶり」

グラビア

ついに登場！
二階堂ふみ

週刊現代

中国経済はまもなく大崩壊する

中国財政部の「極秘レポート」をスクープ入手！

ガン治療

人間として「信頼できる医師100人」

12月12日
Weekly Gendai
2015 December

大人気「あさが来た」
広岡浅子の足跡を旅する

7000万円脱税した「長野の小さな食堂」の事情
警告レポート 成年後見人の弁護士報酬もバカ高い
「認知症」実はこんなにカネがかかる

超豪華特大号

カラー大増68ページ！今週もW袋とじ！

元CIA長官 衝撃の告白

「飛行機か、地下鉄か——年内に米国でテロが起きる」

巻頭スクープ
インタビュー



W袋とじ

大信田礼子「激レアヌードで濡れる」
妄想グラビア「エッチなOLと不倫旅行」

週刊誌史上初「読む春画」

スウェーデンに学ぶ「幸福なSEX」

なぜ彼らはいくつになっても「できる」のか／心ゆくまで絶頂を——
スウェーデン流「ロングロングSEX」の極意／スウェーデンの「大人のオモチャ」はエッチでお洒落／かの国の「性の伝道師」が教える愛撫テク



新体操「アテネ五輪代表」大開脚ヌード